

服用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

〈歯痛・頭痛〉 大正トンプク

第2類医薬品
〈解熱鎮痛薬〉

◆大正トンプクは、解熱鎮痛作用のあるアセトアミノフェン・エテンザミド、鎮静作用のあるブロモバレリル尿素を配合した細粒で、我慢できない歯の痛み、頭痛をしずめます。



使用上の注意



してはいけないこと

必ず読むこと!



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

① 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

② 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

③ 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気等があらわれることがあります)

④ 服用前後は飲酒しないでください

⑤ 長期連用しないでください



相談すること



① 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

② 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに右記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

③ 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

眠気

④ 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効 能

- ◆歯痛・抜歯後の疼痛・頭痛・咽喉痛・腰痛・肩こり痛・筋肉痛・関節痛・神経痛・月経痛（生理痛）・耳痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- ◆悪寒・発熱時の解熱



用法・用量

次の量をなるべく空腹時をさけて水又はぬるま湯で服用してください。
服用間隔は6時間以上おいてください。

年 令	15才以上	11～14才	8～10才	5～7才	3～4才	3才未満
1回量	1包	2/3包	1/2包	1/3包	1/4包	服用しないこと
服用回数	1日2回まで					

[注意]

- (1)定められた用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成 分

1包(1.2g)中

成 分	分 量	はたらき
アセトアミノフェン	300mg	発熱・頭痛・歯痛・生理痛等、熱と痛みをします。
エテンザミド	350mg	鎮痛作用により、痛みをします。
プロモバレリル尿素	200mg	鎮静作用により、アセトアミノフェン等の鎮痛作用をたすけます。
無水カフェイン	50mg	頭痛をします。

添加物：セルロース、乳糖、メタケイ酸アルミン酸Mg、ヒドロキシプロピルセルロース、l-メントール

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



空腹時の服用はさけましょう

☆一般に熱や痛みをおさえる成分が、胃を刺激する場合があります。
なるべく服用する前に食べ物・飲み物をとりましょう。



この製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

連 絡 先 大正製薬株式会社 お客様119番室
電 話 03-3985-1800
受付時間 8:30～21:00(土、日、祝日を除く)



大正製薬株式会社
東京都豊島区高田3丁目24番1号
<http://www.taisho.co.jp>

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話：0120-149-931(フリーダイヤル)